

平成20年度

神奈川県立厚木高等学校同窓会

定期総会



日時:平成20年7月5日(土)午後1時30分より

会場:厚木商工会議所 5階 大会議室

平成20年度神奈川県立厚木高等学校同窓会総会

平成20年 7月 5日(土) 午後1時30分 開会
会 場：厚木商工会議所 5階・大会議室

司会進行 事務局次長 石塚 修

～ 総 会 次 第 ～

○ 物故者への黙祷

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 1. 開会の辞 | 副 会 長 | 中丸 英一 |
| 2. 同窓会長挨拶 | 会 長 | 小澤 澄男 |
| 3. 学校長挨拶 | 顧 問 | 堀 英雄 |
| 4. 来賓紹介、来賓祝辞 | | |

5. 議 事 (議長選出：)

- | | | |
|---------------|----------|-------|
| ①平成19年度 事業報告 | 事務局次長 | 志村 祐一 |
| ②同 会計決算報告 | 事務局会計 | 足立原 泰 |
| 同 会計監査報告 | 会計監査 | 大野 訓男 |
| | 会計監査 | 八木 一郎 |
| ③平成20年度 事業計画案 | 事務局次長 | 志村 祐一 |
| ④同 会計予算案 | 事務局会計 | 足立原 泰 |
| ⑤平成20年度 新役員選出 | 選考委員会委員長 | 杉田 泰繁 |
| ⑥その他 | | |

議長解任

6. 報告事項

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| ①学校報告 | | |
| ア. 進路の状況 | 事務局 | 渡辺 卓 |
| イ. 部活動の状況 | 事務局 | 内田 憲夫 |
| ②かながわ校歌祭について | 副 会 長 | 近藤 俊二 |

7. 閉会の辞

	副 会 長	梅澤 行次
--	-------	-------

8. 講演会

講 師 齊藤 十内氏 (高校16回、日本スピンドル製造株式会社代表取締役社長)
演 題 『 JR福知山線列車脱線事故における民間企業の救援活動
「何故特別に訓練を受けていない普通の社員にこれだけの人助けができたのか」 ～強い組織、強いリーダーを作る～ 』

(講演会終了後 集合写真撮影 5階 大会議室)

平成19年度

事業報告

平成20年 7月 5日

同窓会事務局

1. 行事関係

19年4.13(金)	創立105周年開校記念日	厚木高校
5.4(祝日)	第7回 地引き網会	鵠沼海岸「堀川網」
5.12(土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
6.10(日)	大和戸陵会	「大和グランドホテル」
6.16(土)	愛川戸陵会	愛川「こまや」
6.30(土)	平成19年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7.30(月)	厚木連合戸陵会	元湯旅館
9.22(土)	相模原両青会	相模原市民会館
10.13(土)	第2回 かながわ校歌祭	県立青少年センター
11.10(土)	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」
11.11(日)	秦野戸陵会	秦野商工会議所
11.25(日)	座間戸陵会	座間神社
20年2.3(日)	津久井支部会	(大雪のため4.20に順延)
3.1(土)	第60回 卒業式	厚木高校
3.2(日)	御所見戸陵会	御所見市民センター
3.29(土)	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」

2. 各種事業関係

1) 校歌祭関係

- ・第2回 校歌祭準備会 10月までに6回開催
- ・第3回 校歌祭準備会 3月末までに3回開催

2) 寄付金の受入(中学37回卒 河田さんより約1,000万円)

3) 支部支援活動

4) 広報活動

平成19年度 収支決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成20年7月5日
厚木高校同窓会
(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	
収 入 の 部	1 会費	3,500,000	5,126,000	1,626,000
	2 入会金	2,100,000	2,135,000	35,000
	3 寄附金	50,000	210,000	160,000
	4 総会懇親会参加費	300,000	234,000	▼66,000
	5 雑収入	10,000	45,996	35,996
	6 前年度繰越金	2,920,408	2,920,408	0
	収入合計(A)	8,880,408	10,671,404	1,790,996
支 出 の 部	1 事業費	1,850,000	1,388,807	▼461,193
	①各支部等活動参加費	400,000	340,000	▼60,000
	②かながわ校歌祭	250,000	182,210	▼67,790
	③懐い出の社維持管理費	120,000	116,049	▼3,951
	④地引き網	60,000	90,000	30,000
	⑤同期会活動助成費	300,000	100,000	▼200,000
	⑥茅賞	70,000	50,400	19,600
	⑦部活動補助費	300,000	150,000	150,000
	⑧卒業記念品	200,000	198,868	▼1,132
	⑨厚高新聞購入費	150,000	161,280	11,280
	2 管理運営費	1,900,000	1,553,953	▼346,047
	①総会等開催費	550,000	506,053	▼43,947
	②出張交通旅費	100,000	100,040	40
	③通信費	50,000	51,200	1,200
	④印刷複写費	50,000	32,000	▼18,000
	⑤会費振込等手数料	150,000	72,670	▼77,330
	⑥事務用品費	250,000	30,998	▼219,002
	⑦会議費	100,000	113,173	13,173
	⑧組織運営費	450,000	419,748	▼30,252
	⑨慶弔費	100,000	147,341	47,341
⑩交際費	100,000	80,730	▼19,270	
3 広報活動費	550,000	651,380	101,380	
①広報活動検討費	250,000	409,880	159,880	
②同窓会報発行費	300,000	241,500	▼58,500	
4 雑費	50,000	1,035	▼48,965	
5 予備費	4,530,408	660,420	▼3,869,988	
支出合計(B)	8,880,408	4,255,595	▼4,624,813	
次年度繰越金(A) - (B)	0	6,415,809		

平成20年7月5日

厚木高校同窓会

平成19年度 母校教育振興基金収支決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

(1) 収入の部

前年度繰越金	9,552,480
川田さんからの寄付他	9,999,602
預金利息	876

合 計 19,552,958

(2) 支出の部

文化部への補助	9,998,342
---------	-----------

合 計 9,998,342

(3) 残 金

9,554,616

(平成20年度へ繰越)

平成19年度 部活動支援基金収支決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

(1) 収入の部

前年度繰越金	644,727
厚木高校同窓会より入金	5,000,100
雑収入	32,925

合 計 5,677,752

(2) 支出の部

吹奏楽部	358,000
新聞部	300,595
文芸部	156,700

合 計 815,295

(3) 残 金

4,862,457

(平成20年度へ繰越)

監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高等学校同窓会 平成19年度の会計について、帳簿等を慎重かつ厳正に監査した結果、正確に整備・記帳されていて、その内容はいずれも適正であると認めます。

平成20年6月4日

会計監査 大野訓男



会計監査 八木一郎



平成20年度

事業計画 (案)

平成20年 7月 5日

同窓会事務局

(年間行事)

20年4.13(金)	創立106周年開校記念日	厚木高校
4.20(日)	津久井支部会	寿司「福ずし」
5.6(振替休日)	第8回 地引き網会	鶴沼海岸「堀川網」
5.10(土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
5.18(日)	大和戸陵会	「大和グランドホテル」
6.21(土)	愛川戸陵会	愛川「川正旅館」
6.21(土)	海老名戸陵会	「ザ・ウィングス海老名」
7.5(土)	平成20年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7.27(日)	厚木連合戸陵会	元湯旅館
9.20(土)	相模原両青会	相模原市民会館
10.11(土)	第3回 かながわ校歌祭	横須賀芸術劇場
(10月中旬)	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」
11月	秦野戸陵会	秦野「 」
11月	座間戸陵会	座間神社
21年2月	津久井支部会	
3月	第61回 卒業式	厚木高校
3月	御所見戸陵会	御所見市民センター
3月下旬	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」

* (各種事業)

* 第3回 校歌祭準備会 10月までに3～5回開催

第4回 校歌祭準備会 3月までに2～3回開催

* 支部支援活動

* 広報活動

平成20年度予算(案)

平成20年7月5日

(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

厚木高校同窓会
(単位:円)

	項 目	予 算	前年度比、備考
収入の部	1 会費	3,500,000	0
	2 入会金	1,939,000	▼161,000 生徒による
	3 寄附金	500,000	0
	4 総会懇親会参加費	300,000	0
	5 雑収入	10,000	0
	6 前年度繰越金	6,415,809	
	収入合計(A)	12,664,809	3,784,401
支出の部	1 事業費	2,570,000	720,000
	①各支部等活動参加費	400,000	0
	②かながわ校歌祭	250,000	0
	③憶い出の杜維持管理費	150,000	30,000
	④地引き網	100,000	40,000
	⑤同期会活動助成費	600,000	300,000 同窓会等の活性化
	⑥茅賞	70,000	0
	⑦部活動補助費	300,000	0
	⑧卒業記念品	200,000	0
	⑨厚高新聞購入費	500,000	350,000 会員の配布を増やす
	2 管理運営費	3,500,000	1,600,000
	①総会等開催費	550,000	0
	②出張交通旅費	100,000	0
	③通信費	50,000	0
	④印刷複写費	50,000	0
	⑤会費振込等手数料	150,000	0
	⑥事務用品費	250,000	0
	⑦会議費	150,000	50,000
	⑧組織運営費	2,000,000	1,550,000 会費納入促進等
	⑨慶弔費	100,000	0
	⑩交際費	100,000	0
	3 広報活動費	1,400,000	850,000
	①広報活動検討費	400,000	150,000 広報活動の充実
	②同窓会報発行費	1,000,000	700,000 会員の配布数を増やす
	4 雑費	50,000	0
	5 予備費	5,144,809	614,401
	支出合計(B)	12,664,809	3,784,401

平成20年7月5日

厚木高校同窓会

財 産 目 録

平成20年3月31日 現在

(単位:円)

1、現金	154,896
2、普通預金	6,260,913
3、定期預金	2,000,000
4、母校教育振興基金	9,554,616
5、部活動支援基金	4,862,457

正 味 財 産 22,832,882

就 職 状 況

1. 平成20年 就職状況

地 域 別			職 種 別	
県内	男	0	官公庁	0
	女	0	会社員	0
県外	男	0	自営業	0
	女	0	その他	0
計		0	計	0

2. 年度別就職者数

年 度	人 数
H20 (2008)	0
H19 (2007)	0
H18 (2006)	2
H17 (2005)	0
H16 (2004)	0

進 学 状 況

1. 平成20年春大学等入学状況内訳

平成20年5月2日現在

年	区分	卒業 者数	進学 希望者数	進 学 者 数					入学率
				四年制大学		短期大学	専修学校 大学校等		
				国公立	私 立				
20年春 (2008年)	現役	316		241	52	185	2	2	76%
	既卒		74	64	20	43	0	1	85%
19年春 (2007年)	現役	314		240	54	180	4	2	76%
	既卒		85	81	22	58	1	0	95%
18年春 (2006年)	現役	319		222	60	153	1	8	70%
	既卒		73	71	16	55	0	0	97%
17年春 (2005年)	現役	316		239	56	170	4	9	76%
	既卒		98	82	27	53	1	1	84%
16年春 (2004年)	現役	355		246	48	188	6	4	69%
	既卒		147	127	34	89	2	2	86%

2. 国公立大学合格者数

<国立大>		20年春		19年春		18年春	
学校名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	
岩手		1					
大阪				2			
お茶の水女子		1			2	1	
香川							
金沢	1				3		
北見工業		1					
鹿屋体育				1			
九州	1				1		
京都				2			
高知					1		
神戸							
埼玉				3			
静岡							
信州	1		1	1		2	
千葉	3	1	1	2		1	
筑波	5		5		8	2	
電気通信	2	2	2	2	1	2	
東京	2	1	6	2	3	2	
東京医科歯科		1					
東京外国語		1	4		1		
東京海洋	1				1		
東京学芸	1		3	1	4		
東京工業	5	2	4	4	5	2	
東京農工	2	2	4		1	1	
東北	2		2		1		
名古屋		1	1			1	
浜松歯科		1					
一橋	1	1		1	3		
福島					1		
北海道		1	2	2	1	2	
北海道教育						1	
山形		1					
横浜国立	8	2	7	3	9	2	
琉球					1		
国立大計	35	20	45	23	50	16	

<公立大>		20年春		19年春		18年春	
学校名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	
大阪市立	1						
岡山県立			1				
神奈川県立保健福祉	2		1		2		
北九州市立			1				
岐阜薬科					1		
首都大学東京	11	1	6		8		
高崎経済					1		
都留文化	1						
前橋工科			1				
横浜市立	7		6		6	1	
公立大計	22	1	16	0	18	1	

<大学校>		20年春		19年春		18年春	
学校名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	
防衛医科大学校		1					
防衛大学校				1			
大学校計	0	1	0	1	0	0	

3. 私立大学合格者数

		20年春		19年春		18年春	
学校名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	
青山学院	70	9	40	2	34	5	
麻布	6	3	1	3	1	2	
亜細亜					3	1	
桜美林	6	1	3		2		
大阪大谷				1			
大妻女子			4	1			
学習院	10	2	3	1	2	3	
学習院女子	1		1				
神奈川	29	2	33	6	21	4	
神奈川工科	1	1			1		
神奈川歯科				1			
鎌倉女子			2		1		
関西			2			1	
関東学院	1		2	2	3		
北里	9	3	7	6	9	4	
京都産業					1		

学 校 名	20年春		19年春		18年春	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
共立女子	2		1			
共立薬科				1		
杏林		1	3		2	
国立音楽	1		1		1	1
慶応義塾	24	9	30	12	22	10
工学院			3		2	1
國學院	6		1	2	3	2
国際医療福祉	1	1	4	2	1	
国際基督教	2		1			1
国土館	2	1	2		1	2
駒澤	7	1	11		4	6
駒沢女子			2			
埼玉医科						1
相模女子			1		2	
産業能率	1					
静岡産業			1			1
実践女子	2		2			
芝浦工業	13	1	6	3	10	1
城西				1		
上智	17	3	14	13	16	6
昭和	2	1	1			
昭和音楽	1		1		1	
昭和女子	1		5	1	2	
昭和薬科	2	2	1	1	5	2
女子美術			1		1	
白梅学園			2			
白百合女子	1		2			
成蹊	3	2	2		4	2
成城	5		2	1	4	1
清泉女子					1	
聖母					1	
聖マリアンアナ医科				1		
専修	11	3	15	3	17	4
洗足学園音楽					1	
創価			2			
大東文化			2			
拓殖					1	
多摩	1			1		

学 校 名	20年春		19年春		18年春	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
玉川	10	1	8	1	3	
多摩美術						1
中央	43	9	54	12	44	22
津田塾	4		1		2	
帝京	2		3		3	
帝京科学						1
帝京平成			1			
東海	11	2	4	4	15	1
東京医療保健	1		3			
東京音楽	1		1			
東京家政	2					2
東京家政学院	1		1	1		2
東京経済						1
東京工科	1					3
東京歯科						1
東京女子	1	1	3	1	7	3
東京女子体育		1				
東京電機			2		2	2
東京農業	10	4	10	1	6	4
東京富士						1
東京薬科	4		4	2	6	3
東京理科	40	10	25	12	30	8
同志社				3	2	1
東邦	1		1			
桐朋学園	1					
東北学院						2
東洋	1	1	6	1	3	3
東洋英和女学院	1		7		1	
獨協医科			1		1	
新潟医療福祉						1
新潟薬科			1			
日本	16	11	10	5	12	5
日本歯科					1	1
日本獣医生命科学		1		1		1
日本女子	14	1	13	5	5	4
日本女子体育	2					
日本薬科				1		
フェリス女学院	3		4			

学 校 名	20年春		19年春		18年春	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
文化女子			1			
文教			3		1	
文京学院					1	
法政	17	11	36	11	33	11
北陸					1	
星薬科	1		2	1	1	2
武蔵		2			2	
武蔵工業	14	2	9	5	17	2
武蔵野	2	1	5	2	2	
武蔵野美術	1					1
明治	53	21	66	18	51	26
明治学院	11	5	15	4	12	2
明治薬科	1		1		1	
明星	2					1
目白				1		1
横浜薬科	1		1	1		
酪農学園				1		
立教	37	12	38	13	18	13
立命館	3	1	2		3	3
和光	1					
早稲田	54	23	43	26	50	23
私立大 計	606	167	602	198	528	207

4. 短期大学合格者数

<公立短大>						
学 校 名	20年春		19年春		18年春	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
神奈川県立外語短					1	
公立短大 計	0	0	0	0	1	0

<私立短大>						
学 校 名	20年春		19年春		18年春	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
青山学院女子短			1			
大妻女子大短			1		2	
共立女子短	1					
上智短	1				1	
昭和女子大短			2			
昭和音楽大短						1
女子美術大短			1			
高崎健康福祉大短	1					
東海大医療技術短			1			
東京農業大短				1	1	
桐朋学園芸術短						
立教女学院短			1			
私立短大 計	3	0	7	1	5	0

第3回かながわ校歌祭について

1. 主催

かながわ校歌振興会（参加同窓会の集まり）。神奈川県教育委員会が共催。
今年も、参加同窓会出身の県議会議員が参与会を構成し、応援する。

2. 日時

平成20年10月11日（土） 正午～午後5時

3. 会場

横須賀芸術劇場（京浜急行 汐入駅前）

4. 参加校 25校

秦野 希望ヶ丘 横浜平沼 小田原 厚木 厚木東
横須賀大津 小田原城内 横須賀 上溝 神奈川工業
横浜翠嵐 商工 湘南 平塚江南 逗子 横浜緑ヶ丘
藤沢 大秦野 川崎 横浜立野 平塚工科 光陵
初参加校2校・・・・・・・・相原 港南台

5. 校歌祭における厚木高校同窓会の役割と校内役員

校歌祭実行委員会・・・副委員長（近藤俊二） 会計（石塚 修）
校内・・・実行委員（志村祐一） 舞台（森住照雄） 会場（長嶋克佳）

6. 厚木高校の参加体制について

同窓会員・・・同窓会総会や各支部での呼びかけによる自由参加を基本とするが、一部動員体制も考える。（10～5名ほど）

本年度は、伊勢原・秦野・依知・睦合・三浦半島支部に動員のご協力をお願いし、総勢70名ほどで参加したい。

現役生徒・・・昨年参加した軽音楽部と 新たに生徒会有志が参加を希望しており、30数名規模となりそうです。

大型バス2台で往復することを基本にする。いろいろなご都合で、直接会場へ向かわれることも結構。バスの発着時間・場所は練習会で。

7. 練習会

9月14日（日）午後2時から練習会を学校で行う。本年は、校歌の他に第1応援歌（伝統古き三剣の・・・）も歌う。当日の集合時間、バスの発着時間、服装、振り付け、懇親会について等全てをここで連絡する。

8. 校歌祭終了後の懇親会について

第1回・第2回とも歌い終わってから山下町のホテルに向かい、盛大な打ち上げを行った。今年は、厚木にバスで戻ってから、地元で行う。

第4回かながわ校歌祭 は、本校戸陵会が実行委員長をつとめ、

平成21年10月10日（土）、厚木市文化会館で行う予定です。

講 演 会

演 題：『 JR福知山線列車脱線事故における民間企業の救助活動

特別に訓練を受けていない普通の社員になぜ想像を超す

人助けができたのか』

サブタイトル：『強い組織，強いリーダーをつくる』

講 師：齊 藤 十 内 氏（高校16回卒 日本スピンドル製造株式会社

代表取締役社長）

講師プロフィール

1945年神奈川県生まれ，1964年厚木高校卒業，1971年東京工業大学修士課程修了，同年住友重機械工業入社，新居浜製造所に配属。1997年精密事業部事業部長兼田無製造所長，1999年常務執行役員就任，2000年新日本造機社長（赤字転落会社の再建をし，4年で最高利益へ），2004年日本スピンドル製造社長に就任（業績低迷の会社の再建を果たす）2007年3月期決算で経常利益最高益，2008年3月期決算で連結最高益更新を果たす。

タイトル『JR福知山線列車脱線事故における民間企業の救助活動

特別に訓練を受けていない普通の社員になぜ想像を超す人助けができたのか』

サブタイトル：『強い組織、強いリーダーをつくる』

- I はじめに 日本スピンドル再建のため2004年6月社長に就任。その10ヶ月後、当社本社工場（兵庫県尼崎市）の近くでJR列車脱線事故が発生した。社長である私の決断で工場を止め、全社員で救助活動を行なったことが人命救助、被災者の救援に大きな役割を果たし全国から労いの言葉と賞賛を頂くこととなった。
 - II JR福知山線列車事故の概要と当社社員による救援活動の実際
 - 1 事故の概要と救助・救援活動の開始
 - ・ 事故発生直後の対応 社内安全手続き
 - ・ 二次災害防止対策 工場機材の持ち込み
 - ・ 工場操業停止 全社員による救援活動
 - 2 公的機関の緊急対応状況
 - 3 社用車を使った病院への救急搬送
 - 4 自主的・自律的な役割分担
 - 5 もの作りの会社の特性が活かされた
 - III なぜ、想像を超す救助・救援活動ができたのか、その理由を考える
 - 1 社員の胸の内を聞き取り
 - 2 外部からの声、反響
 - 3 総務省・防災部門での研究結果
 - 4 当事者としての見解
 - IV 強い組織、強いリーダーをつくる
 - 1 日本スピンドルの再建ロードマップ
 - 2 再建にあたっての具体的な実行項目とキーポイント
 - 3 会社再建から学んだ経営観
 - ・ JR事故救援に社員を動員させた要因と会社再建に社員を立ち上がらせた根っ子の共通性
 - 4 強い組織、強いリーダーをつくる「4つの心得」
 - ・ 思いを強く持つ
 - ・ 人間を理解する努力、人間に理解して貰う努力を惜しまず
 - ・ 覚悟する
 - ・ 使命を全うする
 - V おわりに
- 以上

神奈川県立厚木高等学校同窓会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、神奈川県立厚木高等学校同窓会(略称「戸陵会」と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を神奈川県立厚木高等学校(以下「母校」という。)内に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦、交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 母校の発展向上に関する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の会員により組織する。

- (1) 正会員 神奈川県立第三中学校、同県立厚木中学校及び同県立厚木高等学校の卒業生並びにこれらに在学したことがある者
- (2) 特別会員 母校の現職員及び旧職員並びに役員会の承認を得た者

第2章 役員等

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

(役員を選任及び任期)

第7条 役員を選任は、次のとおりとする。

- (1) 役員は、正会員の中から選任し、総会において承認する。
- (2) 前号に規定する役員候補者は、別に定める役員選考委員会において選考する。
- 2 役員任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長の在任期間は、連続して2期を超えることができない。
- 4 役員が欠けた場合における補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 監事は、事業及び会計を監査する。

(理事)

第9条 理事は、会長並びに第12条に規定する支部の推薦により、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

- 2 理事は、理事会を組織し、本会の事業が円滑に推進されるよう協力するとともに、必要に応じて会長に建議をすることができる。
- 3 理事の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 理事が欠けた場合における補欠理事の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第10条 本会に事務局を置く。

- 2 事務局は、事務局長、事務局次長、校内役員及び会計で構成し、会長が委嘱する。
- 3 事務局長は、母校及び会員との連絡・調整、会議の招集事務、その他本会の庶務を行う。
- 4 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 5 校内役員は、事務局長及び事務局次長を補佐し、本会及び母校との連絡・調整を行う。
- 6 会計は、本会の出納管理を行う。

(顧問等)

第11条 本会に、名誉会長、顧問及び卒業回別役員を置くことができる。

- 2 名誉会長は、会長経験者で、本会の発展に著しい貢献があった者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の活動を積極的に協力支援する者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 4 卒業回別役員は、本会と各同期会員との連携強化のための連絡・調整を行う。

第3章 支 部

(支部)

第12条 本会は、役員会の承認を得て各地域等に支部を置くことができる。

- 2 支部は、第3条の趣旨に基づいて会則を定め、本部との緊密な連携のもとに、必要な活動を行うものとする。
- 3 支部は、その名称、活動する地域、役員名、事務所等を会長に届け出るものとする。

第4章 会 議

(総会)

第13条 総会は、本会の最高議決機関であり、通常総会と臨時総会を開催する。

- 2 総会の議長は、理事のうちから総会の議決を得て選任する。
- 3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数であるときは議長の決するところによる。

(通常総会)

第14条 通常総会は、毎年1会計年度ごとに開催し、会長が招集する。

- 2 通常総会は、次の事項を議決するものとする。
 - (1) 予算及び事業計画を定めること
 - (2) 決算及び事業報告の認定
 - (3) 役員を選任

- (4) 同窓会会則の変更
- (5) その他本会の運営に関わる基本的事項
(臨時総会)

第15条 臨時総会は、理事の過半数から要求があったとき、又は会長が必要と認めるときは、これを招集する。

(役員会)

第16条 役員会は、会長、副会長及び監事をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、議長は会長がこれにあたる。

3 役員会は、次の事項について審議する。

- (1) 総会に諮るべき事項
- (2) その他本会の管理及び運営に必要な事項

第5章 会 計

(会費等)

第17条 本会の経費は、次の収入をもって充て、資金の運用については、別に定める。

- (1) 入会金 7,000 円
- (2) 会 費
 - ① 年会費 2,000 円
 - ② 10年会費 18,000 円
 - ③ 終身会費 30,000 円(ただし、年齢60歳以上の会員に限る。)
- (3) 寄付金
- (4) 臨時会費及びその他の収入

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 会則改正等

(会則の改正)

第19条 この会則は、総会において出席者の3分の2以上の同意がなければ、改正することができない。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り決定し、総会において報告する。

附 則

1 本会則は、平成18年8月12日から施行する。

付 録

- 1 同窓会会則(昭和58年8月施行。以下「旧会則」という。)は、廃止する。
- 2 第18条の規定にかかわらず、平成18年度の会計年度は、平成18年8月1日から始まる。

校歌

作詞 荒川義治
作曲 深山桂

一、戸室の丘辺旭日さして

三剣光り輝く見ずや

阿夫利の高嶺相模の流れ

高きに憧れ長さを慕ふ

相州健児 あ、我が友

二、文化の流れ渦巻くところ

御国の理想いかしく立てり

剛毅のかいに和平のかじに

いざ国進めん雄々しく猛く

相州健児 あ、我が友

三、我等は若し我等は強し

我等の前途光明みてり

思えば昔御国の為に

尽くせし祖先の功は高し

相州健児 あ、我が友

